

平成16年9月29日

各位

株式会社 りそなホールディングス
(コード番号8308)

近藤産業 株式会社の再生支援について

今般、当社子会社のりそな銀行(社長 野村 正朗)ならびに奈良銀行(社長 上林 義則)は、取引先である近藤産業株式会社(以下、「近藤産業」という)が策定した新再建計画に同意のうえ、近藤産業の共同スポンサーとなるゴールドマン・サックス・グループ、株式会社ダイナシティが設立する新会社への近藤産業に対する債権の承継等による金融支援を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、株式会社整理回収機構の企業再編ファンドスキームを活用した企業再建スキームとなります。

記

1. 近藤産業株式会社の概要

所在地 : 大阪府守口市京阪本通2丁目10番6号
代表者 : 酒居 民雄
資本金 : 60百万円
事業内容 : マンション分譲・賃貸事業

2. 金融支援の内容

(1) 新会社への債権の承継

りそな銀行 承継債権額 156億円

(2) ゴールドマン・サックス・グループへの債権売却

りそな銀行 売却債権額 283億円

奈良銀行 売却債権額 2億円

完了時期は、平成17年3月を予定しております。

なお、当社子会社である埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行には本件に関する債権はありません。

3. 当該事実が当社の業績に及ぼす影響

上記金融支援実施に伴う損失額につきましては引当済であり、平成16年5月24日に発表いたしました当社の平成17年3月期業績予想に変更はございません。

以上

近藤産業株式会社に係わるスポンサー契約について

当社子会社の株式会社りそな銀行（以下りそな銀行）は、取引先である近藤産業株式会社（以下近藤産業）が策定しました新再建計画に同意をした上で、近藤産業、ゴールドマン・サックス・グループ及び株式会社ダイナシティ（以下ダイナシティ）とスポンサー契約に係わる協議を行ってまいりましたが、本日、協議がまとまり4社間でスポンサー契約を締結いたしましたのでご報告いたします。

りそな銀行がスポンサー契約を締結した理由としましては、近藤産業が企業価値を維持、向上させ、迅速な再建を果たすためには、お客様、お取引様に安心感を持っていただき、また、質の高いマンションを供給していくことが重要であり、ゴールドマン・サックス・グループ、ダイナシティがスポンサーとなることで、信用力、ノウハウを補完することが、近藤産業の再建の確実性・迅速性を高めることができると判断したためです。

今般、近藤産業が策定した新再建計画は、株式会社整理回収機構の企業再編ファンドスキームを活用し、現近藤産業から会社分割を用いてコア事業であるマンション分譲事業を切り出し、スポンサーが出資する新設会社に継承することで、不動産賃貸事業等の過剰金融債務、地価変動リスク等の負担を取り除き、マンション分譲事業を早期に且つ確実に再建することを骨子としています。元々、近藤産業のマンション分譲事業は、関西に強固な営業基盤を持つ収益性の高い事業ですので、不動産賃貸事業等の過剰金融債務の返済負担を取り除き、スポンサーの支援により競争力を一層強めることで、新再建計画は確実に完遂されるものと確信しております。

これまで、りそな銀行は、主力銀行として近藤産業の再生に向けて最大限の協力を実施して参りました。今後、近藤産業は、ゴールドマン・サックス・グループ並びにダイナシティの支援の下、新会社として再出発することになりますが、りそな銀行は、今後も引き続きスポンサーと協調の上、主力銀行としての役割を果たしていきたいと考えております。

尚、りそな銀行が持つ近藤産業の不動産賃貸事業等に対する金融債権は、すべてゴールドマン・サックス・グループに売却いたしますが、売却損は既に全額引当済ですので当社決算への影響はございません。また、当社子会社の株式会社奈良銀行も、近藤産業向け金融債権を全額売却いたしますが、当社決算への影響はございません。

以 上